

# 校長室だより

令和6年10月11日（金）  
第23号  
十日町市立中条中学校校長室

## キャリア教育

ある教育雑誌に「キャリア教育が充実している学校は学習意欲が高い」という記事がありました。根拠は、国立教育施策研究所が発行しているリーフレット「データが示すキャリア教育が促す『学習意欲』」でした。平成26年のリーフレットで少し古いですが、この内容を踏まえて、キャリア教育について考えます。



キャリア教育は、「生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要しつつ各教科等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。」となっています。

キーワードは、「学ぶことと自己の将来とのつながりを見通す」とことと「社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付ける」です。

なぜキャリア教育の充実が学習意欲の向上につながるか。リーフレットには「キャリア教育を通じて、児童生徒が学校での学習と自分の将来との関係に意義を見出し学習意欲が掻き立てられること」と解説しています。

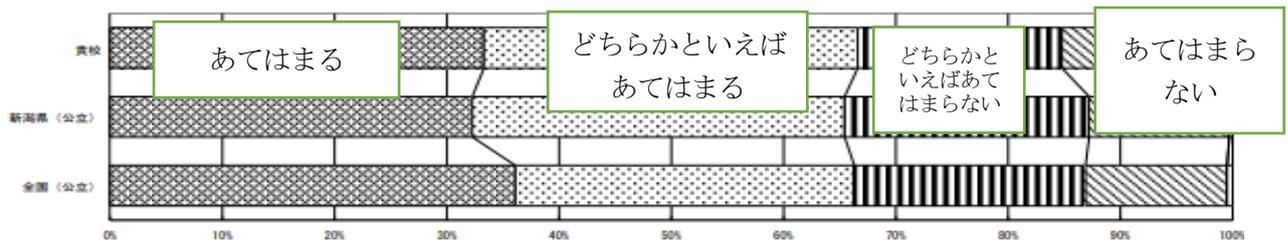


例えば将来、社長になりたいと思えば、会社経営をするための知識を得ることに関心が高まります。公民分野での法律や経済学、数学での証明など筋道を立てて考える論理的な力や計算力、データを読んで分析する力、商品や技術をアピールするための文章力や表現力、社内の人間関係や取引先とのコミュニケーション能力等々。その結びつきや関連を意識すれば、学習へのモチベーション（意欲）が高まるはずで

す。逆に将来について何も考えてなければ、学習はその場だけのものになってしまいかねません。現時点で、「将来の道はこれ」と決める必要はないと考えます。いくつかの選択肢をもつことや、こんな生活をしてみたいというイメージでいいのではと思います。

全国学力・学習状況調査の質問、「将来の夢や目標を持っていますか」についての当校の実態です。

質問番号	質問事項											
(11)	将来の夢や目標を持っていますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	33.3	33.3	18.2	15.2							0.0	0.0
新潟県（公立）	32.3	33.2	21.8	12.5							0.0	0.3
全国（公立）	36.1	30.2	20.6	12.6							0.0	0.5



肯定的な評価は66.6%で、ほぼ全国平均です。しかし、「あてはまらない」が15.2%います。少しでも将来について考える場面や機会を与え、今の学習が将来へと結びつくようにすることで、学習意欲の向上につながると考えます。

学校で育むべき資質・能力とは「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能

力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」です。下記の内容が充実しているかを検証し、キャリア教育を推進していきます。4つを簡単に説明すると

人間関係形成・ 社会形成能力	他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝える能力 →いろいろな人とうまくやっていく力
自己理解・ 自己管理能力	自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との関係を保ちながら、主体的に行動していく能力 →自分を認め、自分の力を磨いていく力
課題対応能力	仕事をするうえでさまざまな課題を発見、分析し、適切な計画を立てて解決する能力。自分が行うべきことに意欲的に取り組み、従来の考え方や方法にとらわれずに、物事を進めていくために必要な力 →課題を見つけ、解決していく力
キャリアプラン ニング能力	働くことの意義を理解し、自分が果たすべき役割をふまえ、「働くこと」を位置づける能力 →どんなキャリアを歩むか決める力

### ベネッセの資料から

(株)ベネッセのサイトから以下の資料を見付けました。キャリア教育の推進には、大人の存在が欠かせません。生徒にとって身近な大人は、学校の教職員であり、家族です。是非家庭でもキャリア教育の後押しをしていただけたらと考えます。以下の内容をやってみませんか。

### 家庭でできるキャリア教育の3つの方法

「キャリア教育」は学校だけで行うものではなく、家庭においての実践も求められます。そうすることで、より本質的で効果の高いものとなります。とはいえ、家庭での「キャリア教育」を難しく考えすぎる必要はありません。まずはたくさんのキャリアの選択肢や実例を知ることが大切になります。次の3つの方法などに取り組んでみましょう。

#### 方法1：保護者自身の仕事について「働く喜び」を伝える

子どもにとって一番身近な大人である保護者の話は、最もリアルでインパクトも大きいです。どんな仕事なのか、どんなときにやりがいを感じるのかなど話をしてみるとよいでしょう。働く厳しさだけでなく、働く喜びを伝えられると、キャリアを前向きにとらえることができるはずです。



#### 方法2：子どもの将来の夢について話し合う、調べる

デザイナーやパイロットなど、お子さま自身に将来の夢があるのなら、もう少し深めて、どのような仕事か、何が必要か、実際に働いている人の例などを調べてみるとういでしょう。そのプロセスを通して「憧れ」を「実現可能な目標」にしていくことができるはずです。

#### 方法3：子どもの好きなモノ・コトに関わる仕事について調べる

お子さまにまだ具体的な将来の夢がない場合は、お子さまが好きなモノやコトに関わる仕事について調べてみるとういでしょう。たとえば、ゲームが好きならゲーム開発の仕事や、キャラクターデザイン、多くの人に買ってもらう広告作成の仕事などが挙げられます。子どもは自分の好きなことの裏側には、こんなにもたくさんの仕事関わっているのだと驚き、興味を持つことでしょう。



「どうして勉強するの？」子どもであれば、一度は疑問に思うものです。しかし、将来の夢や、社会の中の自分の姿、社会に貢献する自分という視点を得ることで、勉強への向き合いはグッと深みを増し、学習意欲も向上します。子どもの視座をあげ、やらされる勉強から脱却をするためにもキャリア教育は有効と言えるでしょう。